

む娘から電話があった。庭の向こう端の溝で、ピンク色のヘビのようなものが動いたのきよっとして、目をこらしている、かつて出会ったこともない大ネズミが顔を出した。身体はまちがいないネズミ色、長い鞭のような、丈夫そうなしっぽがピンク色だった、というわけ、もともとびっくり屋の娘は仰天した。

「そりゃもう、子供ネコも混じっていたわ、みんなおなか出して、少し幽を見せて、十二、三匹はいました。洋服屋さんが面倒みてたネコたちなんですけど、一晚のうちに、葉で殺されたんですね」

友人は、また駐車場ですわった姿勢を崩しながら、都市空間の人工化は進み、地球上に生きる権利を有するはずのネコ、人類と共生してきたネコが、行き場を失くしてしまった。どのような存在であれ、行き場を失くしたものは哀れだ。そして迷惑がられるのもおなじ。もの言えぬ小動物、弱い立場のネコが、ただ「生きている」ことが人間には迷惑だという。迷惑

ネコどこに行つた

気ままに追放

無慈悲では……

きょう子
島



翌日、また電話があり、玄關ロビーを仔ネズミが走って中庭へ入り、管理人が火ばさみを持って追いかけたこと。

「そらあんた、ネコをあんまり情け容赦なく殺し過ぎたせいですがな」聞いた私は落ちついて返答した。

翌日、また電話があり、玄關ロビーを仔ネズミが走って中庭へ入り、管理人が火ばさみを持って追いかけたこと。

た。いまも変わらず、未来も同じであろう。謙虚たることをうち忘れ、不快に対しての横暴無慈悲は、すでに人間どうしの間にも起きつつある。ああ、わ、と思っている。

(作家・神戸市在住)

「二、三年ほどの間に、あちろちろの空地、坂の途中の三角地帯、病院の裏手などを集会場所にしていたネコ(のらネコも飼いネコも)たちが、すっかり姿を消してしまつた。

「二、三年ほどの間に、あちろちろの空地、坂の途中の三角地帯、病院の裏手などを集会場所にしていたネコ(のらネコも飼いネコも)たちが、すっかり姿を消してしまつた。

「二、三年ほどの間に、あちろちろの空地、坂の途中の三角地帯、病院の裏手などを集会場所にしていたネコ(のらネコも飼いネコも)たちが、すっかり姿を消してしまつた。

「二、三年ほどの間に、あちろちろの空地、坂の途中の三角地帯、病院の裏手などを集会場所にしていたネコ(のらネコも飼いネコも)たちが、すっかり姿を消してしまつた。

町内のネコの動静に通じている友人の話によると、風呂屋の裏の空地で、

町内のネコの動静に通じている友人の話によると、風呂屋の裏の空地で、

町内のネコの動静に通じている友人の話によると、風呂屋の裏の空地で、

町内のネコの動静に通じている友人の話によると、風呂屋の裏の空地で、

町内のネコの動静に通じている友人の話によると、風呂屋の裏の空地で、

町内のネコの動静に通じている友人の話によると、風呂屋の裏の空地で、

町内のネコの動静に通じている友人の話によると、風呂屋の裏の空地で、

町内のネコの動静に通じている友人の話によると、風呂屋の裏の空地で、